
No.1s(ノイズ)

江瀬かると

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ノイズ
No.15

【Nコード】

N6356Y

【作者名】

江瀬かると

【あらすじ】

千里眼を持つ少女ノイとその相棒メイ。二人を取り巻く人々の物語。

メイ（前書き）

稚拙な作品ですがよろしくお願いします。感想、アドバイスなど受け付けております。

メイ

BLA A A M E ! ! B L A A A M E ! ! ! . . .

雨に濡れ霧を燻らす街の一角で銃声が鳴り響いた。

まるで魔法のように、表通りを行き交う誰もが足を止め振り向き目を剥いた。

人々の視線の向かう先。銃声の発信源。そこには一人の少女と男がいた。

男の方は顔を赤くしていた。と言っても羞恥心や高揚からとかか
らではない。もっと直接的に血でベツトリと濡らして赤くしていた。
よく見ればその顔からは大量の針が生えていた。まるでサボテン。
元の顔も判別できないほどの酷い有様だ。

男は低い呻き声をあげながら持っていた拳銃を取り落とし、水溜
りに頭から突っ込んで血と水の飛沫を撒き散らした。

対する少女は胡椒瓶の蓋の様な銃口をした小銃を手に携えて悠然
と立って、男の末路を静かに見つめていた。

停止した群衆の中で一人の男が嘲る。

「まーたバカが出たようだぜえ…」

相方らしき隣の男が肩をすくめる。

「あの嬢ちゃんに手を出して生きてた奴あいねーな」

「ホントバカだぜ」

「新参者だったんだろ」

「ノイン所のメイを知らないなんてなあ」

「うけけけけ」

「けけけけけ」

二人の男がくすくす笑い出す。群衆が喧喧とし始めた。誰かが口
笛を吹く。

『遺端者狩り』以降、こういった用心棒と排除者の銃を交えた攻

防は別に珍しい事ではなく、この街ではもはや一種の刺激的なシヨウと化していた。そして、弾圧の象徴たる排除者達に立ち向かう用心棒はシヨウのスター的な存在だった。特に、この少女。メイベルは街で最も有名でかつ正体不明の『遺端者』であるノイの用心棒であるからなおさら知名度が高く、人気も高い。

観衆からの賛辞を受けながら、メイベルも心得たもので、ニツコリと微笑んで手を振り返し、観衆を湧かせた。

すると、観衆の中にはふざけて少額のおひねりなどを放る者もいるからますます大道芸じみてくる。

「悪いねー」

「また糞野郎どもぶつ殺してくれよ……」

そこで、メイベルの思考に別の思念が割り込む……ふざけてないでさっさと帰ってきてよ。

お姫様は待ちきれない様子。

メイベルは了解の意を意識内で伝えたと、観客に別れを告げて足早に路地の闇へと消えた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6356y/>

No.1s(ノイズ)

2011年11月19日13時17分発行